

大学生協奨学事業年次報告 2021

扶養者を亡くされた学生への緊急援助 たすけあい奨学制度

「たすけあい奨学制度」は
(正式名称: 大学生協奨学継続奨学制度)
扶養者を亡くされた学生に
10万円を給付し
学業継続を応援する制度です。
(返還不要)

※財団に限りがあるため、審査を行い学業継続環境が
厳しい方に優先的に給付します

この制度は、主に学生・教職員、
大学生協などからの寄付によって
財政が成り立っている
「たすけあい」制度です。

授業料免除や他の奨学金を
受けていても応募できます。

応募資格

●大学生協のある大学・高等専門学校(学生)
※大学生協の組合員でない大学生、院生、高専生
全ての学生が応募できます

※留學生は大学生協の組合員に限りません

●インターカレッジコープの
組合員である学生・専門学校生
※対象の大学・インターカレッジコープは、
大学生協奨学財団ホームページをご覧ください

●在学中の方で、扶養者を亡くしてから
原則として6か月以内の方

いつでもご応募できます

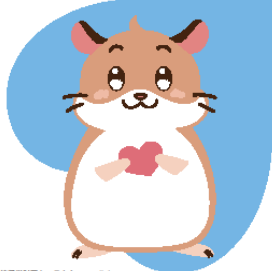
応募方法

1 WEBでの応募
(大学生協奨学財団ホームページから)

2 郵送での応募

※応募用紙・郵送用封筒はこちらから

・大学生協の窓口へ連絡
・お問い合わせフォームにて連絡
・ホームページからダウンロード



大学生協奨学財団キャラクター ヘルム



一般財団法人
全国大学生協連奨学財団

たすけあい奨学制度

<https://www.unisupport.or.jp/tasukeai/>

ホームページからお問い合わせください。

扶養者を亡くされた学生の学業継続応援のため、寄付のご協力をお願いします。

お問い合わせ

大学生協奨学財団ホームページのお問い合わせフォーム

大学生協奨学財団事務局 ☎03-5307-1126 受付時間 平日10:00-18:00 土日祝日は休み



ヘルム(たすけあい奨学制度)

大学生協連奨学財団キャラクター

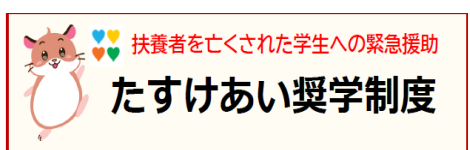
一般財団法人全国大学生協連奨学財団キャラクター「ヘルム」の
LINEスタンプです！ヘルムのことをみなさんどうぞよろしくお願
いいたします！！

¥120 1%還元

LINE Payやキャリア決済等で買えます！

プレゼントする

購入する



私たちがめざすこと



1. 将来に希望をもち修学に意欲をもつ学生を経済面や精神面から支えることを通じて、社会に貢献します。
2. 全国の大学生協とその組合員が培ってきた「たすけあい」(相互扶助)の精神と行動を、大学・社会に広げます。
3. 関わる方すべての大切な財産となるよう、公正な運営と安定的な財政を目指します。

2021年12月



一般財団法人全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学財団がめざすこと

日本の高等教育における本人・家計負担は、国際的にも高いものになっているにもかかわらず、公的支援は甚だ不十分です。学生の多くは、日々の生活を支えるためにアルバイトでの収入にたよらざるをえない側面が強まっています。そうした中で、扶養者・家計支持者のご不幸は、学業継続により一層の困難をもたらします。

大学生協は大学生活を支える保障制度を組合員におすすしめし、育ててきました。さらに、1991 年から勉強援助制度を開始し、扶養者のご不幸に際し学業継続のための緊急支援を、全国の大学生協と組合員からの寄付で賄ってきました。この取り組みは、今日まで 28 年間にわたり続いており「たすけあい」の想いを広げ、培ってきました。

その想いを日本の大学・社会に大きく広げるために、全国の大学生協は、全国大学生協連を設立者として、その法人化 60 周年を記念する年に大学生協奨学財団を立ち上げました。これまで以上に、全国の大学生協と大学生協奨学財団が連携した取り組みを行い、日本の社会と大学に「たすけあい」の想いを広げることをめざします。

給付を通じて全国の大学生協の、顔のみえない仲間から援助があったことが受給者の心の支えにもなっています。

大学生協奨学財団は勉強援助制度の想いを継承し、緊急時の経済的・精神的な支援を広げ、社会に貢献をします。

大学生協は、組合員のたすけあいの組織として生まれ、大きく発展してきました。今では、大学コミュニティのみならず社会的にも注目される重要な存在となっています。これまでもユニセフ募金や被災地支援など、組合員の協同の想いが形になり社会に貢献してきました。同じように、大学生協の無い大学の学生も視野に入れながら、奨学金がすべての応募者に給付できること、新たな奨学内容を盛り込んだ制度を拡大することが願いです。

大学生協奨学財団は、これまで培ってきた「たすけあい」の想いと行動を土台に、すべての高等教育機関に「たすけあい」の取り組みを広げることで大学生協の価値を高めることにも貢献します。

学びの機会をあきらめたくない学生のためにも、「たすけあい」の想いに賛同する人・団体を、他の協同組合・企業等に拡大し、関わる方すべてに、大学生協奨学財団へ貢献することが、学生を応援し、社会の財産になると感じられるようにしていきます。

大学生協奨学財団は、大切な財源を管理し、公正で安定的な運用をめざします。

私たちは、全国の大学生協とともに、めざすことの内容を具体化し、奨学金給付をはじめとする事業の内容及び規模で社会に誇れる「大学生協奨学財団」をつくりあげ、大学生協とともに、大学社会・日本社会に「たすけあい」の想いと協同の精神を広げ、学生の修学支援をして社会貢献をしていきます。

2019 年 12 月 14 日
全国大学生協連奨学財団

大学生協奨学事業年次報告の概要

2021 年度のたすけあい奨学金応募・給付・寄付・賛助会員の状況

【2021 年度(2020年10月～2021年9月)】

	応募		審査		給付				寄付 (万円)	賛助 会員 数	賛助 口数	賛助 会費 (万円)
	大学 数	人数	大学 数	人数	大学 数	人数	給付 率	給付額 (万円)				
2021 年	141	411	135	402	121	308	76.6%	3,044	3,390	195	1,097	2,218
2020 年	-	343	135	333	112	233	69.9%	2,328	2,002	141	885	2,082
前年差	-	+68	-	+69	+9	+75	+6.7%	+716	+1,388	+54	+212	+136

☆たすけあい奨学制度は、大学生協連の勉学援助制度を引き継いでいます。勉学援助制度を開始した 1992 年から(勉学援助制度+たすけあい奨学制度の合計)では、**14,185 名審査し 4,735 名に 6 億 7,569 万円**を給付しています。

2021年度(2020年10月～2021年9月)の1年間の大学生協奨学事業の特徴と課題は次の通りです。

■2021年度の事業の特徴

1. 2021 年度は、扶養者を亡くされた 121 大学 308 名に 3,044 万円のたすけあい奨学金を贈ることができました。

2021 年度(2020 年 10 月～2021 年 9 月)の 1 年間、不幸にも扶養者を亡くされた 121 大学 308 名に 3,044 万円のたすけあい奨学金を贈り、学業継続を応援しました。また、前年に比べて応募(審査)人数が大きく増加しました。たすけあい奨学制度の周知が少しずつ広がってきていることや、ホームページからWEB応募できる環境を整えたことも増加要因となっています。本年度も、給付を受けた学生から、この制度に協力してくれた方々への御礼とともに「**皆様のおかげで学業が続けられる」「精神的に救われた」「社会に出たら自分がたすける側になりたい」「この制度はとても良いので続けてほしい**」という声が多く寄せられました。

2. 引き続き新型コロナ禍の中で「新型コロナ禍特別対応」を継続し、扶養者を亡くされて厳しい状況の学生を応援しました。

この 1 年間も新型コロナ禍が続き、扶養者を亡くされた学生の学業継続はより厳しい状況となりました。応募された学生から「コロナで自分も家族もバイトができず厳しい」という事情が多数寄せられました。当財団では、審査基準を緩和して一人でも多くの学生を応援できるよう「新型コロナ禍特別対応」を継続しました。この結果、**従来の審査基準では対象外となる 63 名の学生に奨学金を贈ることができました**。この対応によって、審査に対する給付率は前年より 6.7%向上しました。また、この対応の実施は、こくみん共済 coop の皆様をはじめ、多くの皆様からの寄付に支えられました。深く御礼申し上げます。なお、新型コロナ禍により学生の就学環境は厳しい状況が続いており、当財団も引き続き学生支援を進めていく考えです。

3. 新型コロナ禍で各々厳しい中でも、寄付、賛助会員が広がりました。

2021 年度は、寄付、賛助会員ともに大きく増加しました。寄付については、2021 年 3 月卒業の学生の皆様から、前年の卒業生にも増して多くの寄付が寄せられました。**新型コロナ下でご自身の生活も厳しい中、たくさんの先輩から後輩の学業継続のため厚意をいただいたこと**に大変感謝するとともに、心温められました。また、大学を退職される教員の方や生協職員 OB の方などからの寄付も寄せられました。賛助会員では、大学生協連会員生協の加入に加え、個人への賛助会員募集を開始したことで増加してきています。ホームページからクレジットで寄付や賛助会員申込ができるようにしたことも増加の要因となりました。

4. 公募により、イメージキャラクター「ヘルム」が誕生しました。

当財団では、大学生協連奨学制度推進委員会の協力のもと、財団とたすけあい奨学制度をより身近にして多くの方に広められることを目的に、イメージキャラクターを公募しました。この公募には、全国の学生の方などから26作品が寄せられ、その中から「ヘルム」が誕生しました。財団では、ポスター、チラシ、ホームページをヘルム入りに改定するとともに、大学生協奨学制度推進委員会では、ヘルムを知ることでもたすけあい奨学制度や財団を知ることにつながる取り組みを進めてきました。本格的な推進はこれからですが、学生が大学生協連ブロックの学習会などでヘルムを知り、そこからたすけあい奨学制度を知り、SNSで他に知らせる行動も生まれています。



5. WEBを利用した寄付・応募の開始、情報提供環境を整えてきました。

本年度は、奨学金応募や寄付のしやすい環境づくりを進めました。

WEBからの応募やクレジットによる寄付・賛助会員加入・会費の継続お支払いの実施とともに、応募・寄付がわかりやすいホームページづくりを進めてきました。また、Twitterを開始し、大切なお知らせや各大学の受給者の声の紹介を定期的に行うよう情報提供してきました。給付を受けた学生から「ホームページを見てたすけあいを実感した」という声が多く寄せられています。また、賛助会員には、ホームページに賛助会員の部屋を設置し、財団インフォメーション(定期発行物)が閲覧できるようにしました。

6. 各大学生協では、総代会・総会へのたすけあい奨学制度報告が進みました。

2021年度の総代会・総会にたすけあい奨学制度を報告する大学生協が増えました。総代会・総会の議案書や付属資料にたすけあい奨学制度の年度報告(制度の概要、自大学での給付や寄付の状況など)を掲載し、総代や組合員、大学に伝えています。

■一方、次のようなことが課題となっています。

1. たすけあい奨学制度の認知度を広め、特にこの制度を必要とする学生に案内を届けることです。

たすけあい奨学制度の認知は徐々に広がっているものの、この制度を知らない学生はまだ多く、特に必要な学生がこの制度を十分に知らない状況だということです。このことは給付を受けた学生から最も多い意見です。応募者へのアンケートでは、約45%が共済金申請時に送られてきた案内で知ったという状況にあります。また、開始したTwitterのフォロワーは200に届いていません。引き続き、各大学生協や賛助会員の皆様のご協力により、「ヘルム」や財団Twitterなども活用しながら、情報提供や取り組みを強めていただきたいと思います。また、この制度を必要とする学生に案内を届けるため、大学から紹介していただくことも課題です。

2. 財政基盤をより安定させるため、奨学事業への共感を広め、賛助会員や寄付を募っていくことです。

これまで当財団は、主に大学生協会員生協によって支えられてきましたが、新型コロナ禍によって財団を支えていただいている各大学生協の経営は大変厳しい状況となっています。今後、さらにたすけあい奨学制度を広げ、多くの学生の学業継続を応援していくためには、より幅広い共感と協力を得ることが必要です。財団理事会では、まず「たすけあいの仲間」である地域生協への理解と協力を広げていくことを課題としました。また、個人の賛助会員加入も学内外で広めていくことを検討していきます。

3. 学生が参加しやすい取り組みや組織形態づくりが必要です。

たすけあい奨学制度の特徴は、同世代の学生がたすけあうことです。各大学生協では、コロナ禍での登校者減少などもあり、たすけあい奨学制度を知らせたり、寄付をしてもらう取り組みが広げにくい状況でした。しかし、もとより卒業生に向けた寄付の取り組みや募金箱設置以外にも、多くの在校生が共感し参加や寄付ができる取り組みが求められていました。各大学生協で創造的に取り組みを進めていただくとともに、財団としても学生が参加しやすい組織づくりを検討していきます。

4. 給付を受けた学生の皆様とつながり、将来、協力・参加してくれる組織づくりを検討します。

この秋に実施した「在学中に給付を受けた学生の皆様へのアンケート」では、約70%の方が「今は難しいが将来は協力しても良い」と回答しています。これまでこの方たちにはコンタクトしておりませんでしたが、はじめてのアンケー

トによりつながるきっかけができました。将来、協力していただくため、給付後もつながり続ける組織づくりを検討していく考えです。

5. 規模の拡大や環境変化などを踏まえて、中期構想の策定、事務の安定化・効率化が課題です。

この1年での寄付や賛助会員・会費の拡大、コロナ禍を受けての就学環境の変化、今後の地域生協等への拡大、参加を広げる組織づくり、公益財団法人化の展望などの状況を踏まえて、事業と財団を継続・発展させていくため、中期的なビジョン・計画を策定していくことが必要です。同時に、広がっている応募・給付や寄付・賛助会員の利便性向上や管理、将来構想のための事務の安定化・効率化も課題です。

大学生協学業継続奨学制度(愛称:たすけあい奨学制度)とは

正式名称は、大学生協学業継続奨学制度(愛称:たすけあい奨学制度)です。

扶養者を亡くし、経済的に学業を続けることが困難になっている学生・院生に対して緊急支援として返済不要の10万円を給付することで、学業継続を応援する制度です。この制度は、扶養者を亡くされて困っている学生・院生の「学業を続けたい」、「大学で学んで夢をかなえたい」という想いを応援しようとする全国の学生・院生・教職員の皆様や大学生協からの寄付を主な財源としている「たすけあい」制度です。

※ただし、寄付を財源としているため財政に制約があり、応募・審査によって、学業継続がより困難な学生に優先的に給付します。また、成績の良し悪しではなく、「学業を続けたい」、「大学で学んで夢をかなえたい」を応援します。

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)の特徴

1.「大学生協のある大学であれば」大学生協の組合員以外も応募できます。

この制度は、2020年から運営を一般財団法人全国大学生協連奨学財団が行い、大学生協のある大学・高等専門学校に在籍する学生・院生を対象としました。このことで大学生協組合員に限定せず、広く学生・院生を支援していくことをめざしております。

※応募対象の大学等は、当財団ホームページに掲載しております。

※財政が充実していけば、応募対象の範囲も広がっていくことを考えています。

2.奨学金は返還不要の給付型です。

3.奨学金の応募受付は毎日行っており、必要書類が揃えばすぐに審査・給付できます。

困っている学生に早く奨学金を届けられるよう、毎日応募を受け付けています。応募は大学生協奨学財団のホームページからできます。また、給付の人数制限はありません。

4.授業料免除や他の奨学金を受けていても応募できます。

5.「学び続けたい」「夢を実現したい」と頑張っている学生を精神的に応援します。

この制度の給付金額は10万円ですが、給付を受けた学生たちからは、全国の学生の皆様からの寄付による応援に対して、御礼とともに「精神的に支えられた」との声が多く寄せられています。また、大学生協奨学財団のホームページに給付を受けた学生から同じ境遇の学生へのメッセージを掲載し、励ましあいを進めています。



給付を受けた学生の皆さんからたくさんの御礼が寄せられました。

▼2020年10月～2021年9月にたすけあい奨学金を受けた学生の皆様からたくさんの御礼・メッセージが寄せられています。(以下、抜粋)



♥学校に通い続けることができます。 たすけあい奨学制度のおかげで、親が亡くなった後の厳しい生活が、少しでも楽になります。非常に助かります。本当にありがとうございます。この制度のおかげで、学校に通い続けることができそうです。奨学金の使途予定は、家への仕送りです。生活費（家賃など）が主に使途になると思います。 【小樽商科大】	♥たすけあい奨学制度は大きな希望 たすけあい奨学金を送ってくれる皆様方、この度、私は父を亡くし、この奨学金制度を申込ました。私は今、大学1年で大学に関する様々な諸費用(主に教材代)に使おうと思っています。コロナ禍でアルバイトもままならない状況ですので、皆様の支援が頼りです。どうかご支援のほど、よろしくお願いします。このたすけあい奨学制度は私にとって大きな希望となっています。同じ境遇の人全員に、とは言えませんが、一人でも多くの学生が助かることを願います。 【はこだて未来大】
♥支援してくれる方がいるのがうれしい気持ちになりました。 本奨学金のご支援に心より感謝申し上げます。父が亡くなり、精神的にも不安定な中、この制度の存在を知りました。学業を継続していくためのお金を頂けることはもちろんですが、私のような境遇の者に対して理解し、支援して下さる方がいるという事実 zu うれしい気持ちになりました。このお金は、残りの学部生の生活、大学院進学後の生活での費用に充てたいです。学生の方々が募金をして下さるというのがとても素晴らしいと思います。私自身もたすける側になりたいと思います。 【東北大】	♥たすけあいについて痛感しました。 奨学金を贈っていただき、本当にありがとうございます。給付を受け、奨学制度の名前にもなっている「たすけあい」について痛感しました。卒業後、私も寄付する側に立ち、同じような境遇にいて困っている学生の皆さんを支援できればと思います。また、奨学金については授業料の納入に充てたいと考えています。私のように扶養者を亡くした学生にとって、この「学業継続奨学制度」は大きな一助となる制度です。金銭的な問題により夢を諦める人が少しでも減るよう、本制度をこれからも継続していただければと思います。 【岩手県立大】
♥たすけあい奨学制度に助けられました。 たすけあい奨学制度の存在によって、自分が助けられたと考えています。本当にありがとうございます。今度は自分が学業をこなし、土木工学者となくことで皆様の生活を安全かつ快適に過ごせるようなインフラ造りで助けることができるよう結果を残します。奨学金は生活費、貯金、専門書の購入に使用し、自分の大学の勉強をより濃いものにするように使用することを考えています。 【埼玉大】	♥家族にとって精神的にも助けられます。 父を亡くした私達家族にとって「たすけあい奨学制度」は金銭面に限らず精神面においても、とても助けられる存在です。顔も名前も知らない多くの方々が自分と同じような境遇のたくさんの学生を支援していただいていることを実感できるからです。本当にありがとうございます。奨学金の使用予定としては私立校に通う妹と、私大に通う私の学費を一人で払ってくれている母の負担を減らすために、学費や教材費に充てたいと考えております。 【早稲田大】
♥支援を糧にこれからも勉学に励みます。 経済的、精神的につらい毎日ですが、みなさんからの支援のお気持ちを糧にこれからも勉学に励んでいこうと思えることができました。奨学金は大学での勉強に必要な道具等の購入や生活費として使用させていただこうと考えています。ご支援いただき有難うございます。 【東京芸術大】	♥心の支援にもつながりました。 私は、この度初めて「たすけあい奨学制度」を知りました。「扶養者 死亡 奨学金」など言葉を検索した際に上位検索に出てくるようになれば、より多くの困っている学生に支援が届くのではないかと考えます。当奨学金は金銭面のご支援だけではなく、心の支援にもつながりました。本当にありがとうございました。また、在籍している大学で同じような状況の方がいるということを知ったので、その方たちと交流することができれば、うれしいと思いました。 【神奈川大】

♥とても感謝しております。 とてもありがたい制度だと思います。自分には関係ないのかと思っていましたが、色々助けていただいた方に恩返しができたらいいなと思っています。昨年12月に父が亡くなり、生活が苦しくなり、たすけあい奨学金を贈っていただけると聞いて、とても感謝しております。今、国家試験に合格できるように頑張っています。奨学金で教科書、参考書を購入したいと思っています。 【名城大】	♥全国の仲間の支援で悲しみを乗り越えます。 学費の一部として使わせていただきます。父親の死という悲しみを乗り越えることができたのは、全国の仲間達の支えがあったからです。この御恩は絶対に忘れず、必ず恩返ししたいと思います。この度は本当にありがとうございます。たすけあい奨学制度は父親が亡くなってから知りました。このすばらしい制度をより多くの人に認知してもらえるようになればいいなと思います。 【岐阜大】
♥人のやさしさに感謝しています。 有難い制度であると思います。人間のもつ優しさに感謝しています。このような取り組みが今後も持続することを願います。二次審査を控えている段階ではありますが、審査に合格し、奨学金を頂けるという事になれば、大変に有難いと思います。奨学金は博士課程進学後の生活費や種々の学会の会費などに充てようと考えております。また、奨学金を頂ければ、間接的にアルバイトの時間を減らすことができるようになり、それだけの時間をかけてじっくりと学業に励めると期待しております。 【京都大】	♥精神的にも救われました。 この度はたすけあい奨学金を贈ってくださりありがとうございます。この制度のおかげで金銭的に悩む場面が減り、今まで通りに大学に通い、より勉学に励むことができます。これから就職活動も待っているの、精神的にも救われとても助かりました。ありがとうございます。このような制度があるとは知らず、父が亡くなってから生協の方に教えて頂きました。もっと広く困っている学生のもとに情報が届き、ひとりでも多くの人が救われることを望みます。 【立命館大】
♥学業を継続することができます。 この度はたすけあい奨学金をお贈りいただき、ありがとうございます。給付していただいた奨学金は、今後の大学生活の学費やその他の費用に使わせていただきます。金銭的にも精神的にも余裕のない中、このような制度のおかげで本当に会助けられています。全国のみなさん、本当にありがとうございます。 【近畿大】	♥学業を継続することができます。 たすけあい奨学金の寄付にご協力いただきありがとうございます。こちらの制度のおかげで学業を継続することができます。本当に感謝しています。奨学金は授業料に支払いに使用します。 【兵庫県立大】
♥コロナ禍の中ありがとうございました コロナ禍の大変な状況の中、見ず知らずの私をご支援していただけたこと、誠にありがとうございます。奨学金は学費に充てさせていただきます。扶養者である父が亡くなり、家計収入が大幅に減少し、今後の生活費に対する不安がふくらみました。さらに、家族全員、何か思い出の品や遺影を見る度大きな喪失感を抱くようになりました。精神面で辛いことも多いですが、残された家族で前を向こうと、今を精いっぱい過ごしています。 【広島大】	♥人の思いやりがわかる気がしました。 大学をやめようかと思い、なんとなくすごしていました。親が親身になり、頑張って卒業できるようにと一生懸命だったと振り返ります。実際に父が亡くなり、学費や生活費の負担をしてくれていたのだと実感しました。奨学金で生活費のたしに使用したいと思います。1人暮らしていますので…本当にありがたいと思います。とてもよい制度だと思います。自分も、その立場になり初めてわかりました。今後は人の気持ち、思いやりがわかる気がしました。本当に、本当に、この制度を続けてほしいと思いました。 【四国学院大】
♥不安を抱える学生にとって心強いもの 私にとって学業を継続することは、今後の人生を豊かにするために必要なものです。先日、母を亡くしたことは受け入れがたい現実です。それでも一日一日が過ぎていく中で、大学に通うこと、講義を受けること、友人とたわいのない会話をすることは、私の心を明るくしてくれます。このたすけあい奨学制度は、大切な人を失い、先の不安を抱える学生にとって心強いものです。学業継続の大きな助けをいただくこと、大変感謝しております。卒業し、社会に出たら恩返しできるように頑張りたいと思います。【長崎県立大】	♥大学生協のたすけあいを実感 コロナウィルスの影響でバイト代が減ってしまったので、その分の生活費の穴埋めに使わせていただきます。大学生協の「たすけあい」を実感することになるとは考えてもみませんでした。本当にありがとうございます。 【九州大】

●給付を受けた学生からの御礼やメッセージは、財団ホームページに毎月掲載しています。

たすけあい奨学制度の応募・審査・給付の状況

1. 応募について

- ①応募数は、141大学から411名となりました。2020年度の応募大学数は集計しておりませんが、応募者は増加しています。たすけあい奨学制度の認知が少しずつ広がっています。
- ②応募で対象外となった方は、89名です。
- ③応募の動機について、2021年1月より応募用紙にアンケートをとるようにしました。結果は次の通りです。

選択項目	回答人数
A) 大学生協の案内で	95
B) 学生総合共済の書類に同封された案内を見て	123
C) 家族に聞いて	21
D) 大学の学生支援課等の案内で	10
E) 大学生協のポスター等を見て	0
F) 大学生協奨学財団のHPを見て	11
G) 大学生協奨学財団のポスターを見て	2
H) その他	11
計	273



- ・扶養者を亡くされた学生総合共済の加入者の共済金相談や申請時にたすけあい奨学制度を案内していることから、約45%は、「B)学生総合共済の書類に同封された案内を見て」という回答ですが、「A)大学生協の案内で」や「C)家族に聞いて」の中にもB)のケースが入っていると思われますので、応募の約70%以上は、学生共済加入者という状況が推測されます。共済金相談時のご案内も大切ですが、それ以外にも扶養者を亡くされた学生に案内が届けられることが大切です。
- ・各大学生協の宣伝、ポスター、HPで広く知らせるとともに、学生支援課等の案内によって応募されるケースも増えてきていますので、大学に協力いただいて、この制度が必要な学生に案内できるようにしていきたいところです。
- ・一方、2021年度の学生総合共済の父母・扶養者死亡保障の共済金給付数は、1,654名となっています。共済と一緒にのご案内しても応募されない方も少なくありません。

【参考】たすけあい奨学制度を開始した2020年1月から2021年9月までの数値

- ①大学生協の組合員以外の応募状況 675名中 組合員658名、非組合員14名、不明4名
- ②学年別の応募状況

学年等	1年	2年	3年	4年	5年以上	院生	高専生	高校生	その他
人数	125	156	147	124	21	88	4	7	3

2. 審査・給付について

- ①審査数は、135大学402名となり、応募数の増加によって、審査数も前年より増加しました。
応募したものの審査書類が揃わない方は、審査数に入っていません。
また、審査を辞退された方が3名いらっしゃいました。
- ②給付数は、121大学308名となり前年より増加し、より多くの扶養者を亡くされた学生のお役に立つことができました。応募の増加もありますが、新型コロナ禍特別対応の実施によって、従来の審査基準では

対象外となる 63 名に給付できたことが大きな増加要因です。このことによって、審査に対する給付率は、76.6%と、前年より 6.7%も向上しました。

3. 2021年度の応募の特徴

～前年にも増して新型コロナ禍での厳しい生活事情が多く寄せられました。

①大学生協奨学財団理事会では、新型コロナ禍特別対応を 2022 年 2 月まで延長することとしました。新型コロナは、扶養者を亡くされた学生とその家族を経済的、精神的に追い詰め、たすけあい奨学制度に応募してくる学生からは、「大学をやめたくない」「夢をあきらめたくない」という悲痛の声が寄せられました。こうした中、この 1 年、通常の給付者に加え、新型コロナ禍特別対応によって、さらに 63 名にたすけあい奨学金を贈り、学業継続を応援することが出来ました。

②コロナ禍の実態が、たすけあい奨学制度の応募の中にも見られます。(抜粋)

♡昨今のコロナウイルスによって、私のアルバイト先は時間短縮営業を行っており、私自身も感染の予防のため、これまでのような収入を望めない状況に陥っています。一家の大黒柱であった父を失った私たち家族は、母一人の収入で、まだ高校生の妹と、学生の私、そしていつ介護が必要になるかもわからない高齢の祖母を養っていかなければならない状況にあり、私としては少しでも母の負担を軽減することができればと考えております。

♡現在、母はパート、私はアルバイトをしておりますが、コロナ禍の状況により、シフトに入ることができず、収入が減っているのが現状です。私は 4 年間、奨学金を借りて大学に通ってるにも関わらず、父が亡くなり、さらに家計状況が厳しくなりました。

♡家族全員が新型コロナウイルス感染症の陽性と診断され、全員が病院に入院しました。その後、父が重症化し、集中治療室で 1 か月半の治療を受けたものの亡くなりました。生活費はすべて父の給与で支えられていました。母は専業主婦で長年働いていません。妹が今年、公立中学校に進学するのでまた色々と費用がかかってきます。これまでもギリギリの生活を送ってきたので、今非常に生活に困っています。

♡父の病気がわかり、余命宣告され、私は一緒に時間を過ごすため、長期休暇は自宅で過ごしました。そのためバイトのシフトに入れず、結局辞めざるを得ませんでした。その後、闘病生活 1 年 2 か月で亡くなり、コロナの影響もあり、私自身もアルバイトができていない状況です。私は公認心理師の資格を取得するという夢があり、それは亡くなった父も応援してくれていました。その夢のためには大学院に進学しなければなりません。経済的な理由で夢をあきらめたくないし、あきらめたら父も悲しむと思います。

♡私が幼い頃に両親は離婚しており、以来母方の祖母の下で高校卒業まで暮らしていました。大学進学を機に一人暮らしを始めましたが、3 年目となる昨年に母が亡くなりました。したがって、現在私と同一生計は祖母のみであり、給与所得者もないため、学業継続が困難である現状です。アルバイトの開始も考えましたが、コロナ禍である現状や今後のピークを迎える卒業研究を鑑みて、見送ることにしました。そんな中、奨学金や授業料減免等の手続きで学生課の方とお話しをしていた際、たすけあい奨学制度についてご紹介いただき、本制度を知るはこびとなりました。財団のホームページを拝見すると、本制度は寄付を主軸として成り立っており、募金者や受給者のメッセージを読むことで「たすけあい」について実感しました。卒業まで残り 1 年となりましたが、祖母への負担を少しでも軽減できるように、ご審査のほどよろしく願いいたします。

寄付・賛助会員の状況

多くの皆様のご理解・ご協力により、寄付・賛助会員は大きく増加することができました。

1. 寄付について

2021 年度寄付の状況

	A)大学生協所属の方、大学生協を通した寄付	B)その他の寄付	寄付合計	【参考】 寄付人数
2021 年度	2,933 万円	456 万円	3,390 万円	5,816 人
2020 年度	1,920 万円	82 万円	2,002 万円	3,821 人
前年増減	+1,013 万円	+374 万円	+1,388 万円	

※A)は、大学生協のある大学の学生・教職員からの寄付・・・3月卒業の学生からの寄付、募金箱、個人振込など

※B)は、大学生協のない大学の学生・教職員、一般の方、団体・企業、大学生協連等からの寄付

※【参考】の寄付人数は、報告のあった大学生協のみ記載(主に3月卒業生の寄付人数)。

- ①寄付は、この1年間で3,390万円が寄せられました。前年から約1,388万円も増加しました。2021年度の寄付・賛助会費の総額は、約5,608万円のうち約60%が多くの皆様の寄付によって支えられています。
- ②特に、2021年3月卒業の学生の皆様から、前年にも増して多くの寄付が寄せられました。新型コロナ下で自身の生活も厳しい中、たくさんの先輩から後輩の学業継続のため厚意をいただいたことに大変感謝するとともに、心温められました。
- ③各大学生協からは、137生協から2,933万円の寄付が寄せられました。寄付された生協は前年より21生協、金額では1,012万円も増加しました。卒業生への寄付呼びかけの取り組みをはじめ、募金箱などで集められました。各生協のご協力に感謝申し上げます。
- ④その他の寄付では、こくみん共済 C00P の皆様からコロナで大変な大学生協と学生のために250万円が寄付され、新型コロナ禍特別対応の延長資金に利用させていただきました。
- ⑤また、大学を退職される教員の方や生協職員OBの方などからの寄付がありました。ホームページからのクレジット寄付も始まりました。

【参考】

- ①100万円以上の寄付があった大学生協

東北大、芝浦工大、信州大、名城大、立命館

- ②寄付人数が100人以上の大学生協

※大学の規模もありますが、たくさんの方から寄付協力を
いただいております。

弘前大 171、秋田大 113、東北大 130、宮城大 113、
芝浦工大 219、明治学院 121、東京学芸大 101、東京農工大 126、
高崎経済大 118、中京大 489、同志社 536、立命館 1065、
龍谷大 203、大阪インカレ 121、近畿大 267、高知大 222、
高知県公立大 173、島根大 102

卒業される組合員の皆様へ

◎扶養者を亡くし、緊急に援助を必要としている後輩がいます。

～学業継続が困難になる仲間を援助する
【たすけあい奨学制度】充実のための寄付をお願いします。

2021年3月卒業予定の組合員の皆様へ
在学中は生協をご利用いただき、また生協の諸活動にご参加いただきありがとうございます。
皆様が美社会にいられても、お元気で活躍されることを祈ります。

大学生協は、在学中に扶養者を亡くされ経済的に困難になった仲間、学業を継続していただくための支援をおこなう【たすけあい奨学制度】に取り組んでいます。

この制度(※)は、1992年の創設以来、これまでに13,789人の応募があり、このうち4,272人に奨学金を支給し、卒業後の生活と在学期間中の生活に支えられています。学生の寄付の多くは卒業後の奨学金の額、その一部を奨学金の寄付に充てられ、在学中の生活に支えられています。皆様のご寄付により卒業後で20,000円以上の寄付が寄せられています。

この制度の趣旨は、在学中に扶養者を亡くされ経済的に困難になった仲間、学業を継続していただくための支援をおこなう【たすけあい奨学制度】に取り組んでいます。この制度の趣旨は、在学中に扶養者を亡くされ経済的に困難になった仲間、学業を継続していただくための支援をおこなう【たすけあい奨学制度】に取り組んでいます。

※この制度の趣旨は、在学中に扶養者を亡くされ経済的に困難になった仲間、学業を継続していただくための支援をおこなう【たすけあい奨学制度】に取り組んでいます。

一般財団法人全国大学生協連関学財団
問い合わせ: 0120-335-770
※本会では、奨学金の申請、在学期間中の生活支援を
実施し、2020年1月から開始しています。

寄付先

扶養者を亡くされた後輩の学業継続を応援するために下記金額を寄付します。

寄付金額 円 年 月 日

氏名 大学名

※後援やこの制度へのメッセージがありましたら是非お願いします。(記入なしでも構いません)

2. 賛助会員について

	2021年度		2020年度		賛助会費1口金額・対象など
	会員数	賛助口数	会員数	賛助口数	
大学団体賛助会員Ⅰ	2	10	2	10	1口100万円。大学生協連、大学生協共済連が対象
大学団体賛助会員Ⅱ	160	981	137	861	1口1万円。主として大学生協連の会員が対象
特別団体賛助会員	5	22	4	23	1口10万円。主として大学生協のお取引先
一般団体賛助会員	0	0	0	0	1口1万円。財団の目的・事業に賛同する法人・団体
個人賛助会員	28	87	0	0	1口2千円。
計	195	1,100	143	894	

- ① 賛助会員は、195 会員・賛助会費口数 1,100 口となりました。昨年から 52 会員、賛助会費口数で 206 口、賛助会費では、136 万円増加しました。
- ② 内訳では、大学関係賛助会員Ⅱ(大学生協会員生協)で 23 会員、特別団体賛助会員で 1 会員が新たに加入しました。コロナ禍による経営の厳しさから、賛助口数を減額される生協もありましたが、ほとんどの生協で予定通りの賛助会費にご協力いただきました。
- ③ また、個人賛助会員の募集をスタートさせ、28 名が賛助会員になりました。ホームページからの賛助会員加入とクレジットでの賛助会費納入もはじめ、個人会員の加入につながりました。

3. 寄付・賛助会員からのメッセージ

寄付に協力いただいた方・賛助会員になられた方からメッセージをいただくようにし、少しずつ増えてきています。このメッセージは、大学生協奨学財団ホームページに毎月掲載しています。在学中に給付を受けた学生の方からも卒業にあたって寄付とメッセージをいただいています。

♥ 経済的な要因で学びを諦める学生が一人でも減るように、この財団のことが認知されるといいと思います。与える、与えられるではなく「たすけあい」を感じられる制度になることを願っています。
(大学職員 賛助会員・10,000 円寄付)

♥ 1 人でも多くの大学生協組合員をはじめとする全国の学生が経済的・精神的な理由から勉学を継続できない、今日・明日の生活に不安を覚えることがないように。そして、今がままならないという一時のことが原因で将来の大きな負担に繋がらないように。何より、寄付した人も受給した人も、互いに見えなくとも相手を感じ、その目の前に相手がいなくても、あらゆる形でたすけあえる環境や考えが、この制度をきっかけに広まったりすれば良いなと思います。(賛助会員・生協職員)

♥ 経済困窮で苦しい思いをしている人たちを支えたいと思い、わずかですが寄付します。将来の夢に向かって、学業に励みたい人たちの助けに少しでもなれればと思います。(茨城大学生・20,000 円寄付)

♥ 無事、卒業することができます。人の気持ちがわかる大人でありたいと思います。お金で勉学ができなくなることが無い世の中になるよう願っています。(名古屋市立大学生・4,000 円寄付)

♥ 寄付して下さった方々にありがとうございました。おかげさまで充実した学びを送ることができました。今度は、私が同じ境遇の方々を助けられたらいいなと思っております。一緒に頑張りましょう。
(桜美林大学生・10,000 円寄付)

大学生協奨学財団の取り組み

奨学財団では、たすけあい奨学制度の充実、普及、応募や寄付等の利便性向上のため、次のようなことを進めました。

1. 新型コロナ禍特別対応を延長してきました。（前述の通り）
2. たすけあい奨学制度の審査を容易にしより多くの学生に給付できるよう、学生本人が加入している共済や保険について、審査基準からなくなしました。
3. これまでは、インターカレッジコープの対象の学生は組合員でなければたすけあい奨学制度に応募できませんでした。奨学財団では、少しでも困っている学生を援助することとあわせて生協の輪を広めるため、扶養者が亡くなられた後でもインカレに加入すれば応募できるようにしました。
4. 大学生協連奨学制度推進委員会に協力していただき、たすけあい奨学制度や財団を身近にして認知を高めるため、公募によってイメージキャラクター「ヘルム」を作りました。これに基づいて、チラシやポスター、WEB サイトもヘルム画像入りに改定しました。
5. WEB を利用した応募を開始し、応募者の負担軽減と審査・給付のスピードアップを図るようになりました。WEB での応募は、徐々に増えてきています。
6. WEB サイトから、クレジットにより、寄付・賛助会員加入と賛助会費の納入をできるようにしました。また、合わせて寄付や賛助会費にご協力いただいた方からメッセージをもらえるようにしたこと、賛助会費では継続して年1回自動課金できるようにしました。
7. 奨学財団のホームページを応募・寄付がわかりやすくするとともに、Twitter を開始し、大切なお知らせや各大学の受給者の声を定期的に紹介するように情報提供してきました。給付を受けた学生から「ホームページを見てたすけあいを実感した」という声もいくつか寄せられています。
8. 大学生協連会員生協の活動促進を図るため、たすけあい奨学制度実務マニュアルの発行や大学生協連ホームページのスタッフオンリーページに大学生協奨学財団のページを設け、情報提供や取り組みに必要なツールデータを提供するようにしました。
9. 奨学財団インフォメーションを4回発行し、たすけあい奨学制度の状況、受給者の声、取り組みを進めている皆様の想い、理事会・奨学制度推進委員会の報告などを掲載、財団と奨学制度の理解を深められるようにしてきました。理事会で報告に活用される生協もありました。

▼奨学財団ホームページ

たすけあい奨学制度の周知を広めるため、ホームページやTwitterを強めました。

また、年4回、奨学財団インフォメーションを発行し、財団の状況やお知らせ、給付を受けた学生の声伝えてきました。



今後の課題について

1.大学生協奨学財団の今後の課題は、次の通りです。(前記の概要を参照)

- ①たすけあい奨学制度の認知度を広め、特にこの制度を必要とする学生に案内を届けることです。
- ②財政基盤をより安定させるため、奨学事業への共感を広め、賛助会員や寄付を募っていくことです。
- ③学生が参加しやすい取り組みや組織形態づくりが必要です。
- ④給付を受けた学生の皆様とつながり、将来、協力・参加してくれる組織づくりを検討します。
- ⑤規模の拡大や環境変化などを踏まえて、中期構想の策定、事務の安定化・効率化が課題です。

2.給付を受けた学生の皆様からのご意見・ご要望～今後の課題として

給付を受けた学生の皆様から 306 通のアンケートが寄せられました。この制度を支えてくれる全国の皆様への御礼の他、当財団・たすけあい奨学制度へのご意見・ご要望を紹介します。最も多かったのは、「認知度が低いので、もっと知らせてほしい。特に同じ境遇の学生に知らせてもらいたい」、「とても良い制度なのでこれからも続けてほしい」という声です。



より多くの人に認知してほしい、同じ境遇の人に知らせてほしい～困っている学生を助け、支援する人を広げるため、SNS やインターネット、大学と協力して宣伝を

- ♥ たすけあい奨学制度は父親が亡くなってから知りました。このすばらしい制度をより多くの人に認知してもらえるようになればいいなと思います。(岐阜大)
- ♥ 私は今回、父が亡くなるまでこの制度の存在を知りませんでした。私が無知なだけかもしれませんが、この制度の認知度を上げることが必要なのではないかと思います。そうすればより多くの人を支えることができると考えます。(鳥取大)
- ♥ 私の場合だと、たまたま生協の奨学金の概要が掲示されているのを発見して応募させて頂きました。大学や生協からの直接の広報はなかったため、存在を知らない方も大勢いると思います。たくさんの方の目にふれられるような広報があればと思いました。(S 大)
- ♥ 学生共済に加入していたから、たすけあい奨学制度というものがあることを知れたが、加入しておらず困っている人にも広く知られる制度になって欲しいと思った。(関西学院大)
- ♥ このような制度があることに本当に感謝しています。しかし、この制度の知名度はそこまで高くないように感じています。私は生協学生委員会に所属していたということもあり何となく知っていましたし、大学生の職員さんともよく話していたので、状況を知った職員さんが教えてくれましたが、大学生協との関わりが薄い学生でもこの制度に頼れるように、もっと広めて欲しいです。(O 大)
- ♥ 非常に残念ですが、この制度は広く知らされているものではない気がします。同じ境遇の方の苦悩を少しでも減らせるこの制度はもっと広く知らされるべきだと思います。(茨城大)
私は、この度初めて「たすけあい奨学制度」を知りました。「扶養者 死亡 奨学金」など言葉を検索した際に上位検索に出てくるようになれば、より多くの困っている学生に支援が届くのではないかと考えます。当奨学金は金銭面のご支援だけでなく、心の支援にもつながりました。本当にありがとうございました。また、在籍してる大学で同じような状況の方がいるということを知ったので、その方たちと交流することができれば、うれしいと思いました。(神奈川大)
- ♥ このような制度を設けていただきありがとうございます。大学や大学生協に扶養者の死亡の事実が伝わった際（契約変更などで）にこの制度の案内をしていただけるとより早く気づくことができました。(北海道大)
- ♥ ほとんどの大学生が毎日利用するであろう大学生協の運営している食堂や購買における本財団の制度の告知（ポスター、ポップなど）をより充実させていただけるともっと多くの困窮している学生の助けになれると思いました。

(九州大)

♥ SNS やインターネットで見つけやすい場所で拡散して、周囲に知らせるべきだと思います。今まで、このような機会がある事を知りませんでした。(近畿大)

♥ 私は大学生協の SNS でこのような制度がある事を知ったので、大学生協店舗での案内があると尚の事良いと思います。(宮崎大)



良い制度なので、今後も継続して欲しい～たくさんの皆さんの参加・協力が力になります。

♥ このような制度を設けていただき、ありがとうございます。この制度は多くの人にとっての助けになっていると思います。是非、今後もこの制度を継続し、多くの人を支えていただきたいと思います。この度は、本当にありがとうございます。(弘前大)

♥ このような奨学金制度が今後も必要とされる学生に1人でも多く届いて、安心して学生生活が送れるよう存続して欲しいと思います。(愛媛大)

♥ 家族を亡くしたことで、精神的に追いつめられるばかりでなく、金銭的な不安も抱えるご家庭は少なくないはずで。今後も、そのような学生やそのご家族に寄り添い続ける制度としてあり続けていただきたいと思います。(日大)

♥ 有難い制度であると思います。人間のもつ優しさに感謝しています。このような取り組みが今後も持続することを願います。(京都大)

♥ たすけあい奨学制度は、私のような学生にとって学びを継続する光になる制度だと思います。今後も皆様のご協力のもと、「たすけあい」を継続して欲しいなと思います。(関西学院大)



今後はたすける側になりたい～たすけあいの輪がつながる、広がる組織をめざします。

♥ このような状況になり、薫にもすぎる思いであったため本制度を見つけた際は、ほんの少し気が楽になりました。本制度で救われた学生が、将来、本制度を通して、同様の状況に陥った学生を助けられる、好循環が生まれれば幸いです。(早稲田大)

♥ 今回私が助けてもらったように、いつか私が誰かを助けられる存在になりたいです。(日本社会事業大)

♥ 直接知らない方々からの支援は本当に感謝し尽くせないくらいありがたいものです。私も助けていただく身として、知らない誰かを救える存在でありたいと感じました。(中京大)

♥ ありがとうございます。卒後募金などできたらしたいと思います。(徳島大)

♥ 学生の方々が募金をして下さるのがとても素晴らしいと思います。私自身もたすける側になりたいと思います。(東北大)

♥ 卒業後はしっかりと働き、今度は自分が誰かを少しでも助けられる様、何らかの形で恩返しをしたいです。(札幌大)

♥ コミュニティとか作れたら良いなあと思いました。同じ境遇の人と。(龍谷大)



知らせてくれてありがとう～電話や窓口での親切な対応は大切です。

♥ 今までこのような制度がある事を知りませんでした。教えていただいた大学生協にも、この制度にも感謝しています。(長崎大)

♥ このような制度があることを、父が亡くなるまで知りませんでした。偶然私の状況を知った生協のスタッフの方が教えてくださって初めて知り、とても素晴らしい制度だと思いました。この制度を知らずに苦しんでいる学生もいると思うので、もっと知名度が上がればよいと思いました。教えていただいた生協の方にはとても感謝しています。(兵庫県立大)

♥ 母の死亡共済金の手続きの際電話窓口でご丁寧に教えていただきました。その親切な対応に感謝しています。ありがとうございました。(K大)



手続きがメールでできて便利、でも、もう少し簡略できると良い。～扶養者を亡くされ物理的・精神的にも大変な中、事務手続きを容易にすることは課題です。

- ♥️ 手続きがとてもスムーズでありがたかったです。(静岡大)
- ♥️ とても素敵な制度であると思います。書類の書き方などもわかりやすく、頭が回らない中でも本当に理解しやすかったです。本当にありがとうございました。(近畿大)
- ♥️ どのような人でも応募できる制度で、本当に有難い制度だと思います。また、メールでのご対応も親切で、感謝しております。(大阪大)
- ♥️ 母を亡くして、あまり気力のわからない中、メールでの申請で完結するたすけあい奨学制度はとてもありがたい存在でした。ありがとうございました。(愛知県公立大)
- ♥️ 応募の際は郵送よりもインターネットでできた方が速くて便利だと思いました。(北海道大)
書類をメールで提出できて本当に助かりました。ホームページの募金者の声を拝読しました。大きな力をいただきました。(佐賀大)
- ♥️ とてもすばらしい制度で感謝しています。要望があるとすれば、もう少し手順を簡略していただけると幸いです。(立命館)
- ♥️ 手続きがしんどかったです。聞きたいことがあってもなかなか電話窓口につながらないことが多々ありました。(西南学院大)
- ♥️ 子どもだけでこの手続きをすることは難しいように感じます。(法政大)



制度の充実を

- ♥️ 一時金だけでなく在学中は定期的に奨学金が給付される制度もあるとすごく助かります。(南九州大)
- ♥️ まず、このような制度を設けていただきありがとうございます。しかし私自身この制度について知ったのは扶養者をなくしてからであります。私のように辛い思いをしている人は少なからずいるだろうし、給付金が全員もらえるわけではありません。一人でも多くの人が救われてほしいため、このような制度をより充実させていただきたいです。(立命館)

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)についてのアンケート

この制度の推進、改善のため、大学生協奨学財団では、給付を受けた皆様にアンケートをお願いしています。以下の点について、学生ご本人がご記入ください。ボールペンでご記入願います。

1. たすけあい奨学金を贈ってくれる全国の仲間にとことお願いいたします。また、奨学金の主な使途予定をお願いします。

一家の大黒柱である父を亡くし、日々生活をする中で不安に思うことは多くありませんが、且助けの手を差し伸べてくださる方がいることで、その気持ちが少し和らぎました。心からの感謝の気持ちでいっぱいです。奨学金は、今後の生活費に充てさせていただきます。

2. 扶養者がお亡くなりになってから、あなたの家族の生活にどのような変化がありましたか?

以前より、家族や親戚が集まる機会が増えました。父を失った悲しみは、家族・親戚に消えませんが、お互いに助け合いながら、少しずつ前に進んでいくとしています。

3. 同じような境遇にある学生へ、あなたからひとことお願いいたします。

大切な人を失うことは想像以上につらく、孤独を感じることもあるかもしれませんが、決してひとりではありません。時には周りの人に頼りながら、自分のペースで一歩、前を向いて歩いていきましょう。

4. たすけあい奨学制度について、意見や要望があればお書きください。

家族を亡くしたことで、精神的に追い詰められるばかりではなく、金銭的な不安も抱えるご家庭は少なくないはずです。今後も、そのような学生やそのご家族に寄り添い続ける制度としてあり続けていただきたいと思います。

学生が互いに支えあう たすけあい奨学制度

一般財団法人全国大学生協連奨学財団 理事長
生源寺 眞一



改めて「たすけあい」の大切さをしっかり認識することになりました。2020年2月に開催された財団理事会の場において理事長を拝命したのですが、たんに理事長職についたことで「たすけあい」への思いを深めたというわけではありません。これまでに奨学金受給者の皆さんから寄せられたメッセージを読み込むことで、たすけあい奨学金の持つ意味を再確認させていただいたと感じております。

それぞれにご不幸の事情は異なりますが、メッセージの多くに共通するのは、たすけあい奨学金が経済面の支援であるとともに、精神面も支えていることが伝わってくる点です。この両面の支えがあるからこそ、学業で頑張る意欲を持続できたとも言えましょう。さらに感謝の気持ちに加えて、将来は支える側として貢献したいとのねがいが語られているケースも少なくありません。まさに、一方的な「たすけ」ではなく、双方向の「たすけあい」が生まれるわけです。

ご承知のとおり、財団のたすけあい奨

学金は1991年にスタートした大学生協の勉学援助制度を継承いたしました。30年に及ぶ取り組みの基盤には、大学生協がキャンパスの全体をカバーしている点があります。学年や学部・研究科の境界を越えた広がり、大学生協の強みなのです。また、卒業時の寄付金が制度を支える柱のひとつである点にも、学生の皆さんが互いに支え合う大学生協らしさが現れています。考えてみれば、大学生協共済やたすけあい奨学金は、互いに支え合う点で、協同組合の原点を実感できる取り組みでもあるのです。

学生の皆さんの意に反した退学の理由として、保護者のご不幸によるケースが多いのは、いまなお否定できない事実です。大学生協の取り組みをベースに、すべての高等教育機関のキャンパスに「たすけあい奨学金」の仕組みを広げること、今後の課題でしょう。さらに大学生協の外の社会に向けて、「たすけあい奨学金」の仕組みと役割を伝える工夫も必要だと感じている次第です。

※本メッセージは、『奨学財団インフォメーション No10』に寄せていただいたものです。新型コロナ禍でのたすけあい奨学制度・当財団とりのくみの意義をご教示いただいています。

新型コロナウイルスから「たすけあい」をみる

大学生協奨学財団 理事
(北海道大学 理事・副学長)
吉見 宏

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。昨年初旬から始まったこの「パンデミック」では、暖かくなれば収まるだろうとか、2回目の流行が終われば収まるだろうなどといわれていた。しかし収まらなかった。ワクチン接種が進めば収まるだろうともいわれたが、どうやらそれも怪しい雲行きである。

新型コロナウイルスの発症により重篤化したり、亡くなってしまうのは、当初は高齢者が中心だった。大学生を中心とする若年層にとっては、感染しても発症しないか、あるいは無症状や軽症であることも多かった。だから自分にはあまり関係がない、と考える若者も多かったのではないかと。しかし、状況は変化してきている。2021年夏の新型コロナ感染者の中心は20代の若者だ。そして感染後に重篤化する例も、40代から50代に移ってきている。これは、ちょうど大学生の親の世代にあたる。

新型コロナウイルスは、私たちにいろいろな視点を与えてくれている。ある世代に注目して対策の手を打てば、別の世代に感染が広がる。自国の国民に接種する十分なワクチンを確保しても、ワクチン確保が遅れている国から変異ウィルスが入ってくる。それは防げない。「水際対策」など、グローバルな現代ではほぼ不可能。都市のロックダウンですら困難なのに、まして鎖国ができるわけもない。あらゆる世代が、あらゆる国々の人々がたすけあわなければ、結局はそのつけは自分に回ってくるのである。

大学生協奨学財団の「たすけあい奨学制度」は、その名の通り「たすけあい」という点で特徴がある。この奨学金を受け取るのは、両親に不幸があった学生のみなさん。しかも1度きりだから、決して十分な支援ではないであろう。しかし、奨学金を受けた人々が受けた心のインパクトは大きい。多くの受給者が、感想や感謝を寄せてくださるが、そこからは、精神的に落ち込んでしまった中で、再び上を向くきっかけになったのがこの奨学金であったことが見えてくる。

そして、受給者は、将来は自分がこの奨学制度に寄付をしようとする。お金持ちがドンと寄付をしてできる奨学制度も大事だが、大学生協奨学財団の奨学金は、「たすけあい」という点ではより理想的な奨学制度なのではないか。

たぶん、新型コロナウイルスに効く「特効薬」ができなければ、新型コロナ感染症は「ただの風邪」にならないのであろう。そのための努力、研究は、製薬メーカーだけではなく、世界中の大学でも行われている。そのような研究にもお金を出せば、それも「たすけあい」だろう。新型コロナウイルス感染症を発症した大学生への支援も、「たすけあい」だと思う。残念ながら、そこまでの力はまだ大学生協奨学財団にはない。しかし、「たすけあい」の輪がきちんと循環すること、それが持続されていくことが、結局は自分を救うことになるのではないだろうか。それは、大学生協奨学財団が目指している姿であり、目指すべき姿だ。そのことを、図らずも新型コロナウイルス感染症が見せてくれているようにも思われる。

2021年度たすけあい奨学制度 会員生協 給付・寄付・賛助会費一覧表

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助 口数				寄付 人数
	2020年 (2019. 10- 2020. 9)		2020年 (2020. 10- 2021. 9)		累計 (1992. 10-2021. 9)		2020年 (2019. 10-2020. 9)	2021年 (2020. 10- 2021. 9)	18	19	20	21 財団	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付							
北海道大	7	4	7	5	198	49	214,490	520,235	1	10	10	10	36
北海学園	4	3	3	3	89	32	400,116	152,466	10	10	10	10	1
酪農学園	1		2	2	48	22		8,100	5	5	5	5	
札幌学院大	3	2	1	1	53	22		42,000		1	1	1	
北星学園	1	1	1	1	39	18	37,000	35,000	1	1	10	10	5
北海道教育大			3	1	49	13					10	10	
札幌大	1	1	2	2	65	34	8,879		1	3	3	3	
小樽商科大	2	1	2	2	31	11		3,206		1	3	3	
室蘭工業大	1	1	1	1	56	22	622,000	272,390	3	10	1	1	21
帯広畜産大					17	7			1	1	2	2	
北見工業大	1	1			36	14	15,690	14,049	3	3	5	5	
釧路公立大			1	1	9	6	10,172	9,990	1	1	3	3	
公立はこだて未来大			1	1	4	4			1	1	1	1	
北海道ブロック	21	14	24	20	694	254	1,308,347	1,057,436	27	47	64	64	63
弘前大	3	1	2	2	74	33	1,048,032	667,831	1	1	10	10	171
岩手大	1	1			111	29	53,446	436,833	2	2		7	1
秋田大	2	2	1		76	23	65,148	294,080	1	1	5	5	113
東北大	8	8	6	5	235	69	1,905,960	1,068,000	1	1	15	15	130
東北学院大	2	2	11	8	141	66	31,000	126,037	1	1		15	60
東北工業大					25	6					5	5	
宮城大	2	2			15	8		33,848					113
宮城教育大			1	1	19	5						3	
山形大	3	1	3	3	144	50	1,427,632	144,999	10	1	10	10	10
福島大	4	3	1	1	48	20	2,000		1	1	3	3	
尚絅学院大	1				9	3			1	1	3	3	
盛岡大					40	17		7,630	2	2	3	3	
宮城学院	2	1	1	1	32	12		8,000	1	1			
弘前学院			1		5	1							
みやぎインカレコープ			1	1	11	7		13,359			2	2	
岩手県立大	1		1	1	3	2	14,598				1	1	
東北ブロック	29	21	29	23	988	351	4,547,816	2,800,617	21	12	57	82	598
埼玉大	1		3	2	106	31		21,571	3	3		10	
跡見学園女子大					30	9			1	1			
お茶の水女子大	1		1		34	8	36,000	42,000	1	1		1	
東京医科歯科大	1				14	4			1	1	2	2	
武蔵学園	2	1			49	14	238,990	125,500	1	1	1	1	55
東京芸術大			2	2	34	9							
日本女子大					36	10	119,007	145,000	1	1	7	7	15
東洋大	4	2	2	1	80	34	101,200	141,000	10	10		10	16
大東文化学園	2	2	2		83	30	90,000		1	1	3	3	
十文字学園					13	4						1	
淑徳大みずほ台					8	2			1	1		1	
東京大	5	3	7	5	300	64	120,000	607,949	1	1	20	20	42
東京理科大	1		2		111	36		163,000	1	1		1	
東京電機大	2		1	1	64	21	261,000	348,000	2	2	7	7	40
千葉大	3	2	2	1	157	42	22,000	109,062	1	1	15	15	6
千葉商科大	2	1	1	1	28	13			1	1		7	
東邦大	2	2	1	1	27	14	38,000	38,000	2	2		2	
芝浦工業大	3	1			95	30	1,108,458	1,140,930	1	1	10	10	219
東京・総武エリア	29	14	24	14	1,269	375	2,134,655	2,882,012	28	29	65	98	393
慶応義塾	7	3	5	2	252	64	91,000	785,098	10	10	50	50	
東京海洋大	2	1			21	5	121,247	144,000	1	1		1	39
横浜国立大	3	3	1	1	150	44		107,197	5	5	10	10	3
横浜市立大	1		1	1	41	9	66,000	40,000	1	1		5	2
東京工業大	1	1	2		75	16		531,981	3	3			85
明治学院	3	2			109	38	270,062	236,324	5	5	15	15	121
東京都立大	5	4	4	3	107	28		108,000	5	5	5	5	8
星薬科大	3		1		8	1	5,691	73,195	1	1	10	10	5
宇宙科学研究所									1	1	1	1	
東京農業大	1	1	4	3	90	43	97,337	462,625	5	5	20	20	33
神奈川大	3	2	9	8	189	69	36,000	73,000	1	1			5
昭和大					20	8	60,000	11,000					
東京工芸大	1		1	1	54	16	35,000	45,000	1	1			
日本赤十字看護					2	1				1			
和光学園					35	10	144,000		1	1	5	5	
桜美林学園	2	1	1	1	68	23	40,420	134,581	2	2			14
麻布大	1	1			36	9	1,000	121,601	3	3	5	5	2
東京・南エリア	33	19	29	20	1,257	384	967,757	2,873,602	45	46	121	127	317
法政大	5	3	6	4	259	83		68,920	1	5	2	2	
早稲田大	13	6	12	8	615	173	159,810	10,000	10	10	20	20	1
工学院大学学園	4	3	4		79	24	15,443	16,440	3	3	7	3	
東京外国語大	1	1			47	17	81,000	138,000	5	5	5	5	
東京工業高専	1	1	1	1	4	4		81,532		1		1	1
東京経済大			1		114	29	336,300	189,853	1	2	2	2	15
東京学芸大			2		87	31	19,407	425,500	1	1	3	3	101
東京農工大	4	4	1		76	19		553,601	1	1	1	1	126
電気通信大	1				55	15			1	1	1	1	
東京薬科大					40	14	254,804	50,000	10	10	5	5	2
一橋大			2	1	46	14	75,000	21,450	1	1	5	5	2
津田塾大	2	1			28	10		15,561	1	1	5	5	
白梅学園					11	3			1	1	2	2	
日本獣医生命科学大	1	1			18	3	5,000	51,000			1	1	5

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助 口数				寄付 人数
	2020年 (2019. 10- 2020. 9)		2020年 (2020. 10- 2021. 9)		累計 (1992. 10-2021. 9)		2020年 (2019. 10-2020. 9)	2021年 (2020. 10- 2021. 9)	18	19	20	21 財団	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付							
日本社会事業大			1	1	6	4		58,620			1	1	3
明治薬科大	2	2	4	3	23	10	15,000	20,000	1	1	3	3	2
東京インカレコープ	2	2	4	4	115	52	5,000	255,000	5	5	5	5	51
東京・武蔵野エリア	36	24	38	22	1,623	505	966,764	1,955,477	42	48	68	65	309
群馬大	1	1	1	1	79	18			1	1	7	7	
高崎経済大					64	24	2,000	141,420	1	1		5	118
宇都宮大			3	3	58	12		17,000	5	5	5	5	3
足利大					28	6		9,000			3	3	
茨城大	6	4	1	1	82	31	36,888	69,360	2	2		10	6
茨城リソテ教学園					11	8	2,359	10,486	1	1	1	1	1
信州大	2	1	5	4	192	50		1,790,351	1	1	15	15	
長野大					16	8		8,043	1		3	3	
長野県立大					8	3			1	1	2	2	
新潟大	5	4	5	4	170	58	448,000		5	5	15	15	
山梨大			2	1	40	10			2	2	5	5	
新潟県立大	1		1	1	11	4					3	3	
太田情報-医療-自動車専門学校					1						3	3	
新潟青陵大・短期大			1	1	2	2							
長野県看護大					1	1	5,000	60,173		1	1	1	2
松本大					9	5			1	1	5	5	
清泉女学院											3	3	
山梨県立大					4	3			1	1	2	2	
前橋工科大			1		3	1	7,445						
東京・北甲エリア	15	10	20	16	779	244	501,692	2,105,833	22	22	73	88	130
静岡大	3	3	9	8	156	61	153,596	208,348	1	1	10	10	49
愛知大	2	2	2	1	129	49		48,000	1	1			3
名古屋大	3	3	4	4	161	52	307,000	644,010	5	5	15	15	28
愛知教育大	2	2	4	4	80	31	301,906	805,817	1	1	5	5	2
名古屋工業大	1		1	1	36	8	246,629	363,000	1	1	5	5	72
名古屋市立大	1	1	1	1	34	11		394,300	1	1		3	93
愛知県公立大	2	2	2	2	40	15	831	247,000	1	1		3	36
日本福祉大	2	2			65	23	85,000	168,310	1	1		3	44
岐阜大	3	2	6	6	98	26	143,495	536,658	1	1	7	7	2
三重大	1		3	3	116	33	46,600	166,703	5	5	7	7	32
三重短期大					14	6	7,000	3,000	1	1			3
中京大	6	3	8	7	179	74	651,357	574,156	1	1	1	1	489
名城大	1	1	6	5	18	10		1,110,115	10	10	10	10	35
岐阜市立女子短大					3	1	24,000	25,341	1	1	2	2	
自然科学研究機構岡崎					1	1		44,106					
金城学院大	2	2	3	2	25	17	158,000	219,476	1	1	5	5	21
三重県立看護大					3				1	1			
インカレコープ愛知	1	1			6	3	219,000	126,500			3	3	
静岡文化芸術大			2	2	6	5		205,990				3	28
日赤豊田看護							500				2	2	
東海ブロック	30	24	51	46	1,170	426	2,344,914	5,890,830	33	33	72	84	937
富山大	2	2	2	1	97	27	50,000	87,911			10	10	45
金沢大	2	1	1	1	125	29	584,000		10	10	5	5	
福井大	3	3			64	22			5	5	5	5	
石川工業高専					2		4,999	7,286					
富山県立大	1	1			6	3	13,837				1	1	
富山高専	2	2			4	4							
関西・北陸エリア	10	9	3	2	298	85	652,836	95,197	15	15	21	21	45
京都大	10	7	8	4	315	66	100,000	520,000	5	5	20	20	1
同志社	4	4	14	9	236	102	346,376	616,618	5	5	20	20	536
立命館	6	4	17	12	401	159	990,619	1,053,945	10	10	20	20	1,065
京都府立医大・府立大	1	1			31	8	8,164	28,330			5	5	3
龍谷大	8	5	4	4	227	90	544,486	804,142	1	5	20	20	203
京都教育大			1	1	26	13	110,600	60,800	1	1	3	3	9
京都工芸繊維大	1	1			62	18	15,109	8,189	1	1			
滋賀県立大					13	5		19,027	1	1	3	3	1
滋賀大大津地区					23	8			1	1	1	1	
滋賀大彦根地区	1				28	7	53,000	98,161	1	1	3	3	21
京都橘学園	1	1			24	10	19,314	106,800	7	7			37
奈良女子大			2	1	30	7	10,125	28,000			1	1	5
奈良教育大	1	1			26	8			1	1			
奈良県立大	1		1		5	3			1	1			
京都経済短期大					2								
奈良工業高専					7	2	16,768	8,400	1	1	1	1	
滋賀医科大	1	1			7	4	14,000			1	1	1	
関西・京滋奈良エリア	35	25	47	31	1,463	510	2,228,561	3,352,412	36	41	98	98	1881
大阪インカレコープ	2				16	5	150,000	468,970	1	1	5	5	121
近畿大	6	6	5	3	203	80	80,937	667,000	5	5	10	10	267
大阪経済大	1	1	3	1	70	28			1	1			
大阪教育大	1	1	1	1	73	21			1	1	1	1	
大阪府立大	1	1	1	1	76	17			3	3			
阪南大			1	1	58	10	4,536		1	1	5	5	
大阪大	5	3	10	8	309	82	1,422		5	5	20	20	
大阪電気通信大	1		2	2	53	21	156,770	266,747	1	1	3	3	4
和歌山大	1	1			45	14		15,000	1	1	5	5	2
大阪市立大	2	2			68	24	4,824	24,793	1	1	5	5	
大阪千代田短期大					5	2	6,442		1	1			
大阪樟蔭女子大					2	2		5,000		1	5	5	1
和歌山県立医科大	2				6	2					2	2	
千里金蘭大					1		1,541						
神戸大	5	4	6	4	195	56	22,841	105,009	1	1	1	1	15

	審査・給付件数						寄付金額(円)		賛助 口数				寄付 人数
	2020年 (2019. 10- 2020. 9)		2020年 (2020. 10- 2021. 9)		累計 (1992. 10-2021. 9)		2020年 (2019. 10-2020. 9)	2021年 (2020. 10- 2021. 9)	18	19	20	21 財団	
会員名	審査	給付	審査	給付	審査	給付							
関西学院大	6	5	7	6	221	68		490, 228	2	2	20	20	
神戸外国語大	1	1	1	1	35	14			1	1			
甲南大	1	1	1	1	87	27			1	1			
兵庫県立大	1	1	5	4	90	26		1, 000	1	1	7	7	
神戸薬科大			1		6	1	213, 000	114, 000		1			4
神戸親和女子大			1	1	23	13			1	1	3	3	
園田学園女子大					21	7			1	1			
大手前大			1	1	27	11	2, 647		1	1	3	1	
甲南女子大	3	2	1	1	22	11	10, 000		1	1	1	1	
神戸市立工業高専								5, 722					
関西・大兵和エリア	39	29	47	36	1, 712	542	654, 960	2, 163, 469	31	33	96	94	414
香川大	1	1	2	2	85	33			1	1	5	5	
四国学院	1	1	2	2	35	15					1	1	
高知大			2	1	84	28	234, 000	504, 790	2	2	2	2	222
松山大	1	1	3	3	102	42	218, 380	222, 742	1	1	7	7	
愛媛大	2	2	1	1	151	56		565, 088	3	3			
広島大	4	3	5	4	211	66	250, 323	521, 970	10	10	15	15	2
広島修道大	1	1	3	3	99	35	17, 063	69, 614	2	2	7	7	34
徳島大	3	2	3	3	138	52	413, 687	297, 158	1	1	7	7	94
下関市立大	1	1	2	2	37	14	83, 000	51, 852	2	2	3	3	
鳥取大	2	2	1	1	80	35	25, 859		3	10		10	
水産大学校			1	1	14	5					2	2	
岡山大	4	4	9	6	110	47	456, 000	557, 000	5	5	15	15	10
山口大	1	1	2	1	90	33	264, 539	143, 103	3	3	10	10	17
就実			1	1	2	2							
高知県公立大	2	1	2	2	20	9	294, 807	464, 500			1	1	173
梅光学院大					5	4	25, 995	28, 000	2	2	2	2	
島根大	3	1	2	1	33	16	303, 000	223, 000	1	1	7	7	102
松山東雲女子大・短期大					3	1							
福山市立大					1	1					2	2	
中四ブロック	26	21	41	34	1, 300	494	2, 586, 653	3, 648, 817	36	43	86	96	654
福岡インカレコープ	1	1			12	8	6, 000		1	1	3	3	
福岡教育大	1		2	2	24	9	34, 058	69, 262	1	1			18
九州工業大	2		4	4	119	39		79, 162					
北九州市立大	2	2	2	2	109	39			1	1			
佐賀大	2	2	4	3	114	48			1	1	3	3	
宮崎大			4	4	63	17	96, 350	107, 489					
鹿児島大	4	3	1	1	164	60		27, 752	5	5	10	10	
琉球大	3	3			115	29		2, 133	5	5			
鹿児島県立短大					4			2, 067					
沖縄大					8	4							
福岡女子大					7	4							
九州大	5	3	8	6	142	58	50, 000						
西南学院大	2	2	4	4	53	21	26, 668	14, 775	1	1			
長崎県立大佐世保校	2	2	1	1	31	16	15, 561	23, 504	1	1			1
長崎大			6	5	78	27		81, 681	1	1	10	10	
熊本大	3	3	4	4	144	54		30, 000	1	1	10	10	
大分大	1	1	1	1	57	27			1	1		7	
福岡県立大			1	1	17	7			1	1			
純心大(長崎純心大)	1				10	5	9, 931		1	1			
南九州大			1	1	16	7		15, 066					
九州国際大			2	2	9	9	30, 000	4, 000	1	1	3	3	2
長崎県立大シボム校			1	1	9	4		10, 000	1	1		2	1
立命館A P U					23	11	55, 328	36, 491					
熊本インカレコープアカデミア	1	1	2	1	6	5					1	1	
西南女学院大			1	1	3	2		1, 628				1	
九州ブロック	30	23	49	44	1, 337	510	323, 896	505, 010	23	23	40	50	22
資格外			3		3								
その他					295	55	400, 750	1, 447, 611					53
事業連合								40, 312					
大学生協連							401, 337	3, 081, 923					
ブロック							23, 382						
共済連													
総計	333	233	402	308	14, 185	4, 735	20, 044, 320	33, 900, 558	360	392	861	967	5, 816
※応募・給付件数累計は、勉学援助制度+たすけあい奨学制度の合計です。									未加入会員数		75	51	
※2019年度までは、勉学援助制度の実績数値です。									賛助会員数		137	161	
※寄付人数は、報告があった人数のみとなります。													
※賛助口数は、申請があった口数を表記しています。													

【特別団体賛助会員】 1口100, 000円	
団体・企業名	口数
三井住友海上火災保険株式会社	10
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	2
シネックスジャパン株式会社	10
株式会社富士通パーソナルズ	1
共栄火災海上保険株式会社	1

【一般団体賛助会員】 1口10, 000円	
団体・企業名	口数

【 個人賛助会員】 1口2, 000円		
個人会員数		87

大学生協奨学財団2021年度決算概要について

貸借対照表

2021年 9月30日現在

一般財団法人全国大学生協奨学財団

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,626,906	10,427,344	1,199,562
未収金	3,784,804	2,008,786	1,776,018
流動資産合計	15,411,710	12,436,130	2,975,580
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(基本)定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
(特定)郵貯奨学基金	32,705,231	15,060,568	17,644,663
特定資産合計	32,705,231	15,060,568	17,644,663
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	162,864	238,032	△ 75,168
その他固定資産合計	162,864	238,032	△ 75,168
固定資産合計	35,868,095	18,298,600	17,569,495
資産合計	51,279,805	30,734,730	20,545,075
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,526,206	4,656,267	△ 130,061
流動負債合計	4,526,206	4,656,267	△ 130,061
負債合計	4,526,206	4,656,267	△ 130,061
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
(基本)寄付金	3,000,000	3,000,000	0
(特定)会費寄付金	32,705,231	15,060,568	17,644,663
指定正味財産合計	35,705,231	18,060,568	17,644,663
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	32,705,231	15,060,568	17,644,663
2. 一般正味財産			
一般正味財産	11,048,368	8,017,895	3,030,473
正味財産合計	46,753,599	26,078,463	20,675,136
負債及び正味財産合計	51,279,805	30,734,730	20,545,075

正味財産増減計算書

2020年10月 1日から2021年 9月30日まで

一般財団法人全国大学生協奨学財団

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
(一般)基本財産運用益	255	0	255
(一般)特定資産運用益	105	82	23
(一般)受取会費	10,000,000	10,000,000	0
(一般)受取寄付金	28,439,895	12,979,918	15,459,977
(一般)雑収益	4,400	0	4,400
経常収益計	38,444,655	22,980,000	15,464,655
(2) 経常費用			
事業費	30,440,000	14,980,000	15,460,000
奨学金給付	30,440,000	14,980,000	15,460,000
管理費	4,974,182	3,598,610	1,375,572
経常費用計	35,414,182	18,578,610	16,835,572
当期経常増減額	3,030,473	4,401,390	△ 1,370,917
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,030,473	4,401,390	△ 1,370,917
一般正味財産期首残高	8,017,895	3,616,505	4,401,390
一般正味財産期末残高	11,048,368	8,017,895	3,030,473
II 指定正味財産増減の部			
(指定)受取会費	12,184,000	10,820,000	1,364,000
(指定)受取寄付金	33,900,558	17,220,486	16,680,072
指定から一般正味財産への振替額	△ 28,439,895	△ 12,979,918	△ 15,459,977
当期指定正味財産増減額	17,644,663	15,060,568	2,584,095
指定正味財産期首残高	18,060,568	3,000,000	15,060,568
指定正味財産期末残高	35,705,231	18,060,568	17,644,663
III 正味財産期末残高	46,753,599	26,078,463	20,675,136

2021年度の大学生協奨学財団の決算について

●資産は 51,279 千円で前年より 20,545 千円増加しました。負債は 4,526 千円、正味財産は、46,753 千円となりました。

●2021 年度は、奨学事業を 1 年間通して行いましたが、寄付や賛助会費等の収入が大きく増え、奨学金支給や事業経費も増加しましたが、これを差し引いても正味財産は前年より 20,675 千円増加し、事業の継続・安定化に向けた財政の強化が図れました。

※正味財産とは、「資産から負債を差し引いたもの」のことを言います。簡単に言うと、自己資本にあたるもの。ただし、使途が奨学金支給に限定されている寄付者(賛助会費を含む)から受け入れた財産のことを「指定正味財産」と言い、それ以外の正味財産を「一般正味財産」と言います。財団の事業経費は、「一般正味財産」で賄われます。

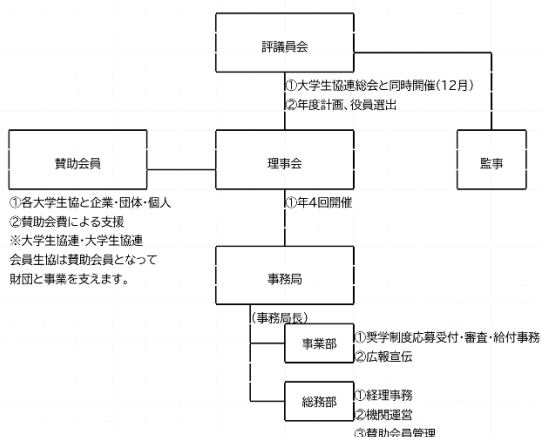
●寄付・賛助会費収入は次の通りです。

- ・大学団体賛助会費Ⅰ 10,000 千円(一般)
- ・大学団体賛助会費Ⅱ 9,810 千円(指定)
- ・特別団体賛助会員 2,200 千円(指定)
- ・個人賛助会員 174 千円(指定)
- ・寄付 33,900 千円(指定)

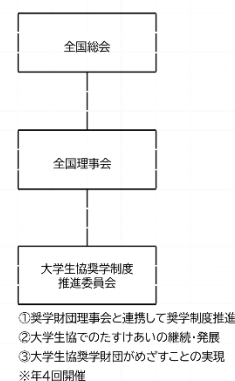
●事業費は、奨学金給付が 30,440 千円で前年から倍増しました。管理費は、4,974 千円で、前年より 1,370 千円増加となりました。1 年間通して事業を行ったことで、委託費や消耗品費の増加、キャラクター作成に伴う広報宣伝物、WEB サイトの充実やオンラインでの寄付の開始などでの費用が増加しました。

大学生協奨学財団組織図

全国大学生協連奨学財団組織図



参考・大学生協連



◆名 称

一般財団法人全国大学生協連奨学財団

◆代表理事

理事長 生源寺眞一
(全国大学生協連会会長理事)
専務理事 中森 一朗
(全国大学生協連会専務理事)

◆法人設立 2018年12月20日

◆事 業 奨学事業(大学生協学業継続奨学制度)

◆主たる事務所

東京都杉並区和田三丁目 30 番 22 号 大学生協杉並会館

◆連絡先

zaidan@univ.coop
電話 03-5307-1126 もしくは 03-5307-1166(大学生協共済連内)